

## 推進計画原案に対する市民意見

○募集期間 平成22年12月22日～平成23年1月11日

○提出者数 38人

○意見の概要

## 問1 わかりやすさについて

	人数(人)	割合(%)
A とてもわかりやすい	6	15.8
B わかりやすい	17	44.7
C わかりにくい	7	18.4
D 非常にわかりにくい	0	0
E どちらともいえない	8	21.1
F 無回答	0	0
計	38	100

## 問2 内容について

	人数(人)	割合(%)
A 適切な内容である	18	47.4
B ある程度は盛り込まれている	14	36.8
C あまり盛り込まれていない	0	0
D 適切に盛り込まれていない	1	2.6
E どちらともいえない	3	7.9
F 無回答	2	5.3
計	38	100

## 問3 その他(自由意見)

裏面に記載。

## 【自由意見】

子どもの虐待防止対策について、幼児から学童中学生まで要保護児童対策地域協議会を立ち上げ、民生委員、人権擁護委員、中央児童相談所、市役所と四者一同に会し、広範囲な情報協力をして早めに具体的態勢を築いて欲しい。また、自殺についても四者協力して早く見つけて(原因)、四者連携して1日も早く対策を見いだしてもらいたい。

やはり中心市街地の活性化がいち早く市内が元気になると思う。行き帰りに立派な千秋公園もあり、県外の人たちも感動すると思う。

接遇の向上には、職員の意識改革が不可欠。特に管理職の改革が重要と思います。接遇の悪い職員の把握と、その指導教育を徹底すべき。  
自転車は走行しやすい道路整備を推進して欲しい。

高齢者は気軽に立ち寄り憩いの場を作るためにいくらかの補助をいただけるように、頂いているところもあると聞いていますが、各集落の所では何もないところが多く、私たちの老人クラブの会も乗り物や集まるたびに自費にてまかっています。いくらかも頂いていない年金の中から大変の声が上がっています。老人はいくらかでも元気で楽しい生活が出来ますよう、大きな集まりの所ばかりではなく、集落にも助成金を頂きたいです。現在私たちの集落の助成金38,000円頂いているようですが、40名の会員で楽しく元気に生活また病気をなくすために(ならないために)50,000円くらい助成して頂きたいです。

結構な内容だと思います。特に「3章」は大事な事柄だと思いますが、実施に伴う財源も若干心配されます。

融雪を道路から水が出る道路にはできないか。  
若者が流出しない手を考えないといけない。  
何でも規制規制となっている堅い考え、秋田に何があるかという海・港・山・湖、自然を守っているようで壊している(海にテトラポットを入れないで欲しい。逆に砂がなくなっていく)

新庁舎、市民サービスの窓口などは、やはり親しみのある空間であって欲しいと思います。  
支え合いによる子育て支援とありますが、子育て中以外の人の中には、自分には関係のない事だと言って心ない態度や暴言を吐く人もいます。子育て中じゃない方々にも支援をきちんと理解していただけるような社会の実現を願いたいものです。

市内企業の活性化の項目で、具体的な事を書いて欲しいのと、27年度目標値はどこからきたのか。また、空きビル、空き地が多くなっているが、その問題を解消して欲しい。  
雇用拡大の推進の所でハローワーク秋田管内の有効求人が27年度は1.00倍になっているが、やはり企業支援をしないと働く場がなくなるのでは。  
労働基準法や育児介護休業法、男女雇用機会均等法など、実際は不景気のため守られていないのが現実。もっと、例えば、1年間育児休業をとらせる企業や有休(実際はとれていない)を推進する企業に支援(お金)をするとか、必要と思われる。不景気になるとますます女性が働きにくい世の中です。

該当しないかもしれませんが、今、自分が思っている事は、人口の歯止め、駅前・中通地区の空きビルテナントの利用法、市や県での借り上げ等。街づくりやゴミ問題など、住んでいる人々がいて初めて発生する事で、人が増えれば問題は拡張します。するとそれに携わる人が必要となります。さすれば、雇用問題も少しはアップし秋田市に人が集まり住む所も必要となってアパート等の空き室も緩和され、住宅の必要性も見直されてくるかもしれません。

旧日赤跡地の再開発事業で出るであろうにぎわい創出のためにも、駅前から千秋公園までの活性化につなげる施策、事業を推進して欲しい。

金額の表記。〇〇〇,〇〇〇万円と〇〇〇,〇〇〇千円が混在。一般人には、万円単位がわかりやすいだろうが、ビジネスでは千円、百万円単位が普通。

## 【自由意見】

鉄道の充実。羽越本線は、現在、夜9時台もなく不便であり、又、風による影響で止まることも多いので、高速化の前にぜひ考えていただきたい。

コンベンション参加者への特典を考えてみたい。他市町村との連携を図り、入場料、入場料の割引、お買い物3～5%の値引き、スタンプラリー形式での特産品の応募などなど。それにより、各関係機関のホスピタリティもUPする。アルヴェでの催し物回数を多くするような施策を考えてみたい。例えば、フリーマーケットを定期的に開催する。他の場所でやっているものをアルヴェにもってくるなど、週末はアルヴェで何かをやっているという様にしたい。（「アルヴェがアルヴェ」ではなく「アルヴェで何かアルヴェ」にしたい）。

家族・地域の絆づくり→すべての行政の根はここにあると。ここが「人間らしく、まっとうに」息づいていることにかかっている。

人間の心が疲弊した現実が多い。①職を得たくてもない②職に就く気のない若者③親へのパラサイトの若者④ひきこもり⑤ウソ⑥度を越えた見栄っ張り

<提案>金持ちたちが寄付をするというシステム作りはできないか？お金を世のために供出するボランティアを。その財政の中で「人間まっとう作り体制」を整え、「生きることは喜びだ」と伝える。

秋田の人間は、概して、精神的にヤバイ。「秋田をなんとかしねば」というキャッチフレーズが聞こえてくるが、「何とかしねばならない」のは、秋田人の精神構造と思う。

雇用拡大の推進についての基本方針と雇用創出の促進の項において、現状(21年度)0.34倍を27年度目標1.00倍など、最も重要な施策であるにもかかわらず、非常に根拠のない数値を掲げ、本気で雇用の拡大を考えて若年者などへの支援をしようとしているのか、その意欲が全く感じられない。

この施策こそ、今の秋田に於いて最も大切なテーマではないだろうか。

県都「あきた」において、あらゆる角度からの平均的な成長プランを考えなければならないのは理解できない訳でもないが、その中で、今の時代と状況の中で、最も大切な事業を抽出し、そのプランを当面優先的に推進させ、そのために後回しにせざるを得ない項目があっても、やむを得ないとする。

これらの成長プランは、その時代に最も相応しい計画でなければならないものであって、もっと弾力的に考えてほしいものだ。

この経済不況の中で、今求められている、地方都市行政のあり方を見直し、犠牲になる事業があっても仕方ないと考えます。

全て□で囲まれており、見にくい。基本方針は、囲まず太字にすると良いのでは。

ページ数が多くなるかもしれませんが、各項目間を空けては。

施策名の字を大きくするか、真ん中に持ってくるとか、下の空白を少なくした方が良いのでは。

東京へ行くとハトバスがあります。秋田でも千秋公園や空港(韓国便の発着に合わせて)等の市内めぐりのバスがあったらと思います。(私が知らないだけかもしれませんが。もしあるとすれば、もっとPPして下さい。)

私は、数年前に秋田の若い人達は、東北地方の他県に比べて借金が多いと聞いたことがあります。今の時代、貯金はできなくても、借金はいくらでもできます。身の丈にあった生活をする事は、大事なことです。社会人教育の一つに加えてほしいと思います。

予算ありきなのは分かりますが、この2ページのみで終わらせているのには、財政部の真剣さが全く伝わってきません。

成長は、経済面・財政面の成長・安定があってこそそのもの。予算が確定していなくても、今現在の課題、これから取り組んでいくべき課題くらいは示してほしいかと思っています。記載されている事業の施策の全てを実行するには、秋田市の財政状況を考えると非常に厳しく感じられます。

最近、外部包括監査等も行われておりますが、その結果、良い方向に向かっているのか気にかかります。

また、団塊の世代の退職者が多数なためか、市関係団体への就任者が多くなっており、その業務内容を見ても、本当に必要なのか甚だ疑問です。

私達の子ども世代に、夕張市のようにはなってほしくありません。くれぐれも市職員一人一人に意識をしっかりとっていただいて、がんばってほしいと望みます。

## 【自由意見】

安全な水の安定供給の部分のところであるが、近年飲料水として、ペットボトルを購入している。時折、濁った水が水道管から流れてくるので、生水としては飲んでいない。(築19年の建物なので、まだ検査していない。)各町内を走る水道管には、耐久性というものもあると思うので、何年か毎に水道管を取り替えるというような事を明確にしてほしい。これは広報などで、市民に知らせてほしいと思う。

この細かく練り上げた案を、どのように1人1人の市民に届けようとするのでしょうか。理解させ、協力させようとするのでしょうか。案だけが立派に出来ても、1人1人の市民の協力が伴わないと、紙上の案だけに終わってしまうのでは。実行を促すその先までの計画が、必要だと思えます。私達の生きてきた子どもの頃(昭和の始め)のような、家族そして地域のつながりの心が、まあく1つになり助け合い協力し合う世の中を取り戻せたら、また、すばらしい世の中になると思います。私達市民は、皆、協力すると思えます。どんどん市の方からいろいろぶつけて下さい。60歳、70歳のエネルギーは、たくさん温存されてると思えます。

「卸売市場取扱高」の目標が減っているのは何故か(単なるミスプリか)。  
「年間宿泊客数」観光客増は、…だが、企業誘致による宿泊客の方が安定的な増加が見込めると思う。  
「にぎわい創出」駅前のにぎわいは、思い切って公営駐車場を無料化に出来ないものか。

ここ数日間、雪が降りました。手形中台地区も2日間ほどきれいに除雪していただき、毎年ありがたいと思います。ただ、町内十字路の角の雪をきれいにほとんど持って行ってくれますが、そこまでする必要はあるのかなと感じております。それよりも、メイン道路で除雪作業後の走行で、たまに脇から落ちる雪のかたまりで車を傷つけたことがあるので、注意しております。

目標設定が不適切なように思える。  
FTTHは、黙っていても普及が進むはず(市街地に限定されるが)なので、施策の有無によらず達成できる目標に思われる。FTTHの普及の前に、まずはインターネットサービス未提供地域を実質ゼロにすべき。  
秋田市の地域性から考えると、インターネットサービスエリア外、エリア内でも実際は、接続できない地域(かくれ未享受地域)が少なからずあるはず。コミュニケーション、サービスのインフラとしてインターネットが重要となっている現状を考えると、それらの地域がインターネットサービスを受けれるようにすることが、FTTH普及の前にすべきことではないか。

需要は多いはずなのに、延長保育などの目標数値が下がっているのはなぜですか。理由が見つけれませんでした。

職員の能力や意識の向上・・・「市民職員～シチズン・パートナー」の育成を目指しているが、市職員には今もこれからも高度な市民サービスが求められる。徹底した能力、意識の向上に努めていただきたい。  
歳入確保と財産活用の推進・・・納税者の利便を図ることはもちろんであるが、滞納者対策をもっと徹底すべきである。  
視点1行政改革・・・今こそ大規模な行政改革を断行すべきである。

1-①企業誘致と既存企業の規模拡大の推進・・・男子型企业誘致を早期に実現してほしい。とにかく若年者雇用の創出拡大がなければ、何事も活性化しない。県外資本の秋田事業所閉鎖が相次ぎ、離職者が増加している。  
雪に強いまちの確立・・・県内他市町村(特に県南地区)と比較し、秋田市内の道路除雪は、見劣りする。計画どおり遂行していただきたい。

下線の使い方が下手です。注のところに下線を引くのではなく、重要なポイントにつけてください。枠に入れて書いていますが、枠の中の長文ほど読みにくいものはありません。ということで、中身以前の問題です。基本的に見難いです。